

板書例

子どもたちとくじらぐもの位置がイメージしやすいように、板書する。

くじらぐも

ながわ りえこ

めあて 子どもたちが、くじらぐもとびのつたときの

ようすをおもいうかべながらよもう。

すすめかた おんどく ○○になろう かく おんどく

三のぼめん

くじらぐも

子どもたち

みんなで

いっせいに

ちからをあわせた

手をつないで、まるいわになつてジャンプした

やつと三十センチぐらい

こんどは五十センチぐらい

「天までとどけ、一、二、三。」

「もつとたかく、もつとたかく。」

おうえん

ばんざいわあ、うれしい
かぜに ふきとばされたあ
やつとのれるぞ
うわあ、くじらにのれる
みんな手をはなさないでね

かぜがふきとばした。

教科書の挿絵

空を とんでいるみたいだね
くじらと あそべるかな
くじらさん まっててね
どんどん あがつていくぞ
かぜが くじらぐもさんまで
つれていってくれるのかな

役割を決めた音読や動作化を取り入れ、子どもたちの気持ちの高まりや、応援するくじらぐも、くじらぐもと子どもたちの一体感を味わわせる。

応援するくじらぐもと、みんなで手をつなぎ一斉にジャンプする子どもたちの様子をとらえる。

「風が吹き飛ばした」だけでなく、くじら雲に飛び乗れたわけをほかにもいろいろと想像させたい。

HOME

単元の流れへ

本時の流れへ

評価問題